

令和4年度事業報告(案)

I 法人本部・管理部

1 理事会・評議員会

第120回理事会は前年度(令和3年度)の事業報告、決算報告、定時評議員会の開催などを承認した。第121回理事会は給与規程、育児・介護休業規程等の諸規程の改訂、第122回理事会は令和4年度上半期事業報告などを承認した。第123回理事会は令和5年度事業計画および収支予算、就業規則等の改訂および令和5年度人事異動に伴う施設長の選任が承認された。第6回定時評議員会では前年度(令和3年度)決算が承認された。

[理事会]	第120回理事会(令和4年度第1回)	令和4年6月2日
	第121回理事会(令和4年度第2回)	令和4年9月15日
	第122回理事会(令和4年度第3回)	令和4年11月17日
	第123回理事会(令和4年度第4回)	令和5年3月16日
[評議員会]	第6回定時評議員会	令和4年6月23日

2 運営概況

(1) 法人経営

部長会議、経営会議は概ね毎月3回定期的に開催して政策形成ならびに運営方針を検討し、迅速な意思決定による事業執行を行った。次課長級による運営会議は毎月1回開催した。中長期計画策定プロジェクトからは事業計画を立案する前の課題提案があり、次年度(令和5年度)から課題を整理して具体的な中長期事業計画の策定委員会を設けることとなった。

(2) 新型コロナウイルス対応

コロナ禍3年目となり、7月からの第7波、12月からの第8波に襲われるなか、行政指導により陽性者および濃厚接触者の対応が緩和されたが、基本的な感染予防を徹底してサービス提供に努めた。各事業所においても利用者、職員の感染が断続的に発生したが、大規模なクラスターには至らず事業所の一部を短期間休止するなどの措置を講じてサービス提供を継続した。12月からは行政指導による障害福祉施設等職員の抗原検査(週2回のスクリーニング検査)を開始した。利用者への5回目のワクチン接種(施設接種)は令和5年2月に終わった。

(3) 人事労務

各事業所における支援員等の配置は法定基準をクリアしているが夜間サービスの支援員不足が慢性化し、支援員の通年採用を行ったが年度途中の退職者数を補充することも困難な状況であった。新卒者の確保のため、来春(令和6年度)卒業予定者を対象に下半期からインターンシップ(職場体験)の受け入れを開始した。令和4年度の退職者は18名、採用は11名(新卒3名、既卒8名)であり、令和5年度当初の採用予定者は7名(新卒1名、既卒6名)であった。新卒者の定期採用で職員を確保することは難しく、福祉サービス経験者および転職者による職員確保に務めた。関係法令の改正ならびに合理的な人事労務管理を行うため「就業規則」「給与および退職金規程」「育児介護休業規程」を大幅に改訂した。

(4) 収支状況

令和4年度の当初予算では約4,000万円の黒字を見込んだが、上半期の利用実績減、学齢後期発達相談室「くらす」の引っ越し等により約1,400万円の黒字に下方修正した。しかし、下半期には利用実績がやや持ち直し、物価高騰対策支援金など収入が増え、さらに年度末に人件費の間違いなどを精査して決算を行った。この結果、収支で約2,400万円の黒字が確保できた。障害福祉サービス事業は、就労移行事業を除きいずれも黒字となったが、相談系事業および地域ケアプラザ事業は、いずれも赤字となった。就労移行事業、相談系事業、地域ケアプラザ事業は、慢性的な赤字となっており、いずれも原因を分析して対策を講じる必要がある。*第2号議案にて説明

(5) 行政指導関係

コロナ禍により中止が続いていた法人に対する指導監査が行われた(令和4年10月14日)。文書指摘はなかったが、口頭や会計面での指摘があった。グループホームなど福祉サービス事業所への実地指導も実施された。

3 事業概況

(1) 事業関係

障害福祉サービスの施設入所支援、生活介護、共同生活援助は通常どおりのサービスを提供したが、入所支援事業所「東やまたレジデンス」は4月下旬に利用者、職員が新型コロナウイルスに感染したため生活介護事業の一部ユニットを一時的に休止した(4/26～5/8)。併せて短期入所サービスも同じ期間(全枠・定員4名)休止した。第7波による感染爆発に伴い複数の感染者(利用者、職員)が発生した生活介護事業所「ポルト能見台」では8月29日から9月2日まで一部エリアのサービスを休止した。グループホームは法人全体でバックアップを行い、サービスを継続した。施設サービス部門では日帰りや宿泊旅行の余暇支援は令和4年度も中止した。買物や外食等の地域生活支援も引き続き抑制した。ヘルパーセンターの外出支援系サービスは余暇や食事を伴うものは利用制限した。相談支援および就労支援、地域ケアプラザは感染防止策を講じながらサービスを提供した。また、「東やまたレジデンス」の短期入所事業は、利用者間のトラブル発生と職員補充ができなかったため、定員を4名から3名に変更した。

(2) 施設整備関係

前年度(令和3年度)から実施していた「東山田地域ケアプラザ」の給排水設備等の大規模改修工事は令和4年5月に終了した。老朽化および長期賃貸契約期間終了を間近に控えたグループホーム「ハウスBEE」「ハウスDOUX」は移転候補地(都筑区)が見つかり、土地所有者と賃貸借について合意し、令和5年度中に現在地から移転する計画を横浜市に申請した。学齢後期発達相談室「くらす」は建物・設備の老朽化により7月下旬に移転作業を行い、8月2日から新事務所での相談を開始した。高齢者の通所介護事業を休止した「東山田地域ケアプラザ」デイルームの代替事業は併設施設である障害者支援施設「東やまたレジデンス」の生活介護事業の定員増を行うことで横浜市と協議する方針を決定した。南部方面の地域支援部門(ヘルパーセンター、計画相談、グループホーム等)の事業所開設計画は、法人全体の人材確保が不十分なため開所時期を見直しすることとした。

(3) 苦情解決事業

令和4年度は法人の全事業所において苦情の申し出はなかった。しかし、「東やまたレジデンス」において利用者間のトラブル(他害行為)が発生し(8月)、横浜市へ報告するとともに、被害者家族へ謝罪をした。被害者家族はその他の支援内容にも苦情を訴えており、支援の見直しを含めて話し合いを行うことになった。

(4) 虐待防止委員会事案

制度改定(4月施行実施)に伴い、障害福祉サービス事業所に虐待防止マネージャー(サービス管理責任者等が就任)を配置し、虐待防止委員会を設置した(身体拘束適正化委員会を兼ねる)。第1回委員会は令和4年10月13日に開催した。

障害福祉部

施設支援1課

専任課長が「東やまた工房」「リンク」「まるん(YOU)」の3事業所を掌握し、各事業所には係長、主任等を配置して施設サービスを提供した。

「東やまた工房」

1 事業概況

生活介護(定員 38 名)、短期入所(定員 1 名)、日中一時支援(定員 1 名)を提供した。日中活動は受注作業を実施した。近隣のスポーツ会館の清掃ボランティア活動は継続したが、余暇活動やグループによる運動活動は中止した。10月に短期入所事業の実施指導があったが重大な指摘はなかった。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員 38 名・現員 38 名)

①利用者概況(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(f)障害程度区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	4	12	17
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	3	8	12
	女	0	0	0	0	0	1	3	4
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男	0	0	0	0	3	8	22	33
	女	0	0	0	0	0	1	4	5

(g)年齢別状況

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳～	計	平均
男性	0	2	7	14	10	33	45 歳 10 ヶ月
女性	0	0	1	2	2	5	48 歳 2 ヶ月
計	0	2	8	16	12	38	45 歳 5 ヶ月

(h)利用期間状況

	～1 年	1 年～ 3 年	3 年～ 5 年	5 年～ 10 年	10 年～ 15 年	15 年 ～	計	1 人当たり 平均入所期間
男	0	0	1	3	7	22	33	18 年 11 ヶ月
女	0	0	0	1	2	2	5	18 年 2 ヶ月
計	0	0	1	4	9	24	38	18 年 10 ヶ月

(e)長期入院等状況

状 況	人数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院者	0
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅者	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

(f)利用方法状況

自 力	6
保護者迎	5
送迎バス	4
そ の 他	23
計	38

(g)利用日数状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要通所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	22
平均通所日数	18.8	17.7	20.7	18.5	16.8	18.4	18.9	19.3	19.1	17.2	17.3	21.2

(h)入退所状況 退所: 50 歳(男性) R4. 10. 22 自宅にて死去

(2)短期入所事業(定数: 1 名)

①利用状況(宿泊延べ日数)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
14	17	25	17	17	16	15	15	15	11	10	16	188

②障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	1	8	10
女性	0	0	0	0	0	0	0

③年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男性	0	3	2	5	10
女性	0	0	0	0	0

(3)日中一時支援事業(定数：1名) 利用者数2名 利用実績2日

3 支援状況

(1)日中活動

ケアプラザ広報物や地域情報誌のポスティング、電子部品の組立て・解体、宅配寿司出前セット作り等の受注作業を実施した。

(2)生活支援

検温、マスク着用、手洗い、手指消毒など新型コロナウイルス感染予防を徹底した。買物、飲食等の外出支援は限定的に行った。

(3)新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0
職員	1	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0

4 苦情解決事業 なし

「リンク」

1 事業概況

日中活動は受注活動を実施した。余暇活動は中止したが、外食支援は個別ニーズに則して行った。養護学校から実習生(1名)を受け入れた。8月に実地指導を受けたが、重大な指摘はなかった。

2 利用実績

(1)生活介護事業(定員20名・現員22名)

①利用者概況(令和5年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	1	2
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	5	7
	女	0	0	0	0	1	0	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	4	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	1	0	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体2級)	男	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	2	6	10	21
	女	0	0	0	0	1	0	1

(イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均年齢
男性	1	0	3	7	10	21	48歳1ヶ月
女性	0	0	1	0	0	1	39歳7ヶ月
計	1	0	4	7	10	22	47歳8ヶ月

(ウ)利用期間状況

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	1	2	0	18	0	0	21	8年6ヶ月
女	0	1	0	0	0	0	1	3年4ヶ月
計	1	3	0	18	0	0	22	8年6ヶ月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	13
保護者送迎	0
送迎バス	1
そ の 他	8
計	22

(カ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	22
平均通所日数	17.6	16.4	19.6	17.8	16.0	17.5	17.9	17.5	17.8	15.9	16.3	19.1

(キ)入所状況

入所：18歳(男性) R4.4.1 都筑区 高津養護学校から(新卒)

3 支援状況

(1)日中活動

フィルター加工、文房具類組立て・包装、プラスチック製品のシール貼り、建材資材の組み立て、自動車部品の組立、切手台紙貼り、ナプキンアイロンがけ等の受注作業を実施した。

(2)生活支援

ガイドヘルパーと支援方法について緊密に連携した。新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。

(3)新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 苦情解決事業 なし

「まるんワークス」

1 事業概況

日中活動は受注作業や清掃作業を実施した。余暇活動は中止した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員24名・現員24名)

①利用者概況(令和5年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合 計
療育手帳								
A1	男	0	0	0	0	0	5	5
	女	0	0	0	0	0	0	0

療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	7	5	14
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男	0	0	0	1	2	7	11	21
	女	0	0	0	0	1	1	1	3

(イ)年齢別状

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	2	8	5	6	21	41歳8か月
女性	0	0	0	0	3	3	52歳7か月
計	0	2	8	5	9	24	42歳11か月

(ウ)利用期間状況

『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	1	1	3	6	11	15年8ヶ月
女	0	0	0	0	0	2	2	20年9ヶ月
計	0	0	1	1	3	8	13	16年8ヶ月

『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	1	0	0	2	7	10	17年2ヶ月
女	0	0	0	0	0	1	1	21年9ヶ月
計	0	1	0	0	2	8	11	17年8ヶ月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	11
保護者送迎	4
送迎バス	2
そ の 他	7
計	24

(カ)利用日数状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	22
平均通所日数	19.6	18.5	21.5	18.6	17.8	19.7	19.3	19.8	19.5	17.7	18.1	21.5

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	22
平均通所日数	17.1	17.1	20.6	18.5	16.2	17	18	17.1	16.8	14.8	17.8	21.3

(キ)入退所状況 なし

(2)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ51日 実数2人

3 支援状況

(1)日中活動

情報誌のポスティング、文房具組立・包装、採尿カップ折り、自動車部品組立て、玩具のパッキング等の受注作業を実施した。クリーンタウン横浜事業センターの清掃を継続した。

(2)生活支援

感染対策を徹底した。外食活動は控え、テイクアウトや出前を利用した。

(3)新型コロナウイルス感染状況

『まるんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 苦情解決事業 なし

施設支援 2 課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員 50 名)、施設入所支援(定員 40 名)、短期入所(定員 3 名)、日中一時支援(定員 2 名)を提供した。3 係体制のもと日中支援部門と生活(夜間)支援部門が連携して支援を行った。新型コロナウイルスの感染予防に注力したが、利用者および職員に陽性者が発生した。入所支援事業は感染者と非感染者の活動および居住空間を分けて感染拡大を防ぎながら入所サービスを継続した。短期入所サービスは一時的にサービスを休止した。支援員の退職や療養休業による減員、利用者間のトラブルによる居室移動の影響により、11 月から短期入所の定員を 3 名にした。入所利用者が 6 月に急性心機能障害により死去した。12 月に入所支援事業で新規利用者を 1 名受入れた。見学や実習は感染予防対策を徹底し、優先順位をつけて受け入れた。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員 50 名・現員 52 名)

①利用者概況(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	1	34	35
	女	0	0	0	0	0	1	5	6
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	0	3	4	7
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	男	0	0	0	0	0	6	38	43
	女	0	0	0	0	0	2	8	9

(イ)年齢別状況

年齢	～19 歳	20～29	30～39	40～49	50 歳～	計	平均
男性	0	1	3	23	16	43	47 歳 8 か月
女性	0	0	2	3	4	9	46 歳 4 か月
計	0	1	5	26	20	52	47 歳 0 か月

(f)利用期間状況

期 間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男性	0	0	0	3	4	36	43	22年2か月
女性	1	0	0	1	4	3	9	15年4か月
計	1	0	0	4	8	39	52	18年8か月

(g)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(h)通所方法状況

自 力	0
保護者送迎	7
送迎バス	5
そ の 他	40
計	52

(h)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
平均日数	21	21	21	21	20	21	21	21	21	20	18	22

(h)入退所 退所者：34歳(女性) R4.6.6 都筑区 死去

入所者：30歳(女性) R4.12.19 都筑区

②支援状況

受注作業、近隣のスポーツ会館の清掃活動を継続した。個々の利用者に必要な環境や活動の見直しや導入を進めた。中庭やベランダを利用した運動の種類を増やした。宿泊旅行は中止した。

(2)施設入所支援(定員40名・現員40名)

①利用者概況(令和5年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合 計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	1	22	23
	女	0	0	0	0	0	1	5	6
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	0	1	2	3
	女	0	0	0	0	1	1	2	4
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合 計	男	0	0	0	0	0	3	25	28
	女	0	0	0	0	1	3	8	12

(イ)年齢別状況

年 齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	0	1	18	9	28	48歳7か月
女性	0	0	4	5	3	12	46歳0か月
計	0	0	5	23	12	40	47歳4か月

(ロ)利用期間状況

期 間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男性	0	1	0	4	1	22	28	21年4か月
女性	1	0	2	2	1	6	12	15年3か月
計	1	1	2	6	2	28	40	18年4か月

(㉔)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(㉕)入退所 退所者：34歳(女性) R4.6.6 都筑区 死去
入所者：30歳(女性) R4.12.19 都筑区

②短期入所事業(定数：3名)

(ア)利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
32	79	96	107	94	66	77	77	78	71	76	78	931

(イ)障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	0	7	29	37
女	0	0	0	0	2	2	4

(ウ)年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男	0	12	14	11	37
女	0	0	4	0	4

③日中一時支援事業(定数：2名) 利用者数：3人 利用実績：14.25日

④支援および運営状況

近隣の医療機関と連携して訪問診療を継続し、インフルエンザの予防接種は健康診断時に実施した。新型コロナウイルスのワクチン接種は嘱託医および近医の協力を得て実施した。余暇活動は感染予防策を講じながら可能な範囲で外出の機会を設けたが、宿泊旅行は中止した。

(3)新型コロナウイルス感染状況

生活介護事業・施設入所支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
職員	1	0	0	0	2	0	1	1	2	0	0	0

3 苦情解決事業

8月に利用者間のトラブルで被害に遭った家族から施設の対応が不十分であること、これまでにも支援に対してさまざまな改善を申し入れているが聞き入れられていない、との訴えがあった。対応策として居室の変更等を講じた。また、日頃の申し入れについては、個別対応ができることとできないことがあり、その点を明確にしながら家族の理解が得られるよう丁寧に説明していくことにした。

施設支援 3課

「ポルト能見台(ナビス氷取沢)」

1 事業概況

生活介護事業(定員60名)、短期入所事業(定員1名)、日中一時支援事業(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。生活介護事業の利用者は合計66名であった。「ポルト能見台」は施設長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長(サービス管理責任者)、看護師(非常勤)、管理栄養士(正職員)を配置した。支援体制は2エリア(1エリア2グループ)に分け、各グループに支援員(正職員2名・非常勤2～4名)を配置した。4月から新規利用者1名(新卒・男性)を受け入れた。「ナビス氷取沢」は係長、支援員(正規2名・非常勤4名)を配置した。4月から新規利用者1名(新卒・男性)を受け入れた。新型コロナウイルス感染予防等を徹底したが、感染者が複数発生したため4月1日、8月29日から9月2日まで「ポルト能見台」生活介護のB作業エリアのサービス提供を休止した。

2 事業実績

(1)生活介護事業（定員 60 名・現員 66 名 ポルト能見台 50 名 ナビス氷取沢 16 名）

①利用者概況(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(7)障害程度区分状況(ポルト能見台)

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	3	3	16	22
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	3	8	13	24
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	8	12	29	49
	女	0	0	0	0	0	0	1	1

障害程度区分状況(ナビス氷取沢)

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	3	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	2	3	7
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	7	4	14
	女	0	0	0	0	1	0	1	2

(イ) 年齢別状況(ポルト能見台)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男	1	6	19	13	10	49	39歳11ヶ月
女	0	0	1	0	0	1	33歳
計	1	6	20	13	10	50	39歳9か月

年齢別状況(ナビス氷取沢)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男	1	7	4	2	0	14	29歳11ヶ月
女	0	1	0	0	1	2	39歳6ヶ月
計	1	8	4	2	1	16	31歳1か月

(ウ)利用期間状況(ポルト能見台)

年	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男	1	2	0	3	7	36	49	15年11ヶ月
女	0	0	0	0	1	0	1	14年10ヶ月
計	1	2	0	3	8	36	50	15年11ヶ月

利用期間状況(ナビス氷取沢)

	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男	1	0	13	0	0	0	14	4年5ヶ月
女	0	0	2	0	0	0	2	4年8ヶ月
計	1	0	15	0	0	0	16	4年6ヶ月

(エ) 長期入院等状況(ポルト能見台)

状 況	人数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院	0
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

長期入院等状況(ナビス氷取沢)

状 況	人数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院	0
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況(ポルト能見台)

自 力	7
保護者送迎	22
送迎バス	10
その他	11
計	50

利用方法状況(ナビス氷取沢)

自 力	6
保護者送迎	7
送迎バス	0
その他	3
計	16

(カ) 利用日数状況(ポルト能見台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要通所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	22	238
平均日数	17.3	17.6	20.7	18.8	16.0	18.3	18.7	18.6	18.7	16.3	17.6	20.4	18.3

利用日数状況(ナビス氷取沢)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要通所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	22	238
平均日数	18.1	16.9	20.1	18.3	15.8	18.1	18.4	18.1	18.0	16.3	16.4	19.4	17.8

(キ) 入退所状況(ポルト能見台)

入所者	入所日	居住区	備 考
18歳(男性)	R4.4.1	金沢区	金沢養護学校卒業

退所者：なし

入退所状況(ナビス氷取沢)

入所者	入所日	居住区	備 考
18歳(男性)	R4.4.1	港南区	港南台ひの特別支援学校

退所者：なし

(2) 短期入所事業(定数：1名)

① 利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18	24	28	24	17	28	34	28	34	25	24	26	310

② 障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合 計
男	0	0	0	2	5	14	21
女	0	0	0	0	0	1	1

③ 年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29	30～39	40歳～	合 計
男	0	6	12	3	21
女	0	0	1	0	1

(3) 日中一時支援事業(定数：2名) 利用者数 16人 利用実績 40.5日

3 支援および運営状況

(1) 支援方針

個別支援計画を策定し半期ごとに支援内容の確認と見直しを行った。支援計画の説明は郵送や電話で実施するなどの配慮をした。利用者を取りまく家族や地域資源、医療機関との協力・連携に務めた。

(2) 日中支援

利用者の特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業(部品組立て・梱包など)を中心に自立的に活動ができるよう支援した。金沢区土木事務所からの公園清掃委託業務は継続した。

(3) 余暇支援

新型コロナウイルス感染予防のため前年度に引き続き平日夕方の余暇活動(カラオケ・プール)、宿泊旅行とも中止とした。

(4) 短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。短期入所の利用実績は前年度より一割程度増加し、定期利用は前年度と変わりなかった。日中一時支援の利用実績は毎朝利用が1名いるため前年度より増加した。

(5) 地域生活支援

グループホーム「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」「ハウスノア」「ハウスオーク」への車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や週末及び通所の移動に困難をきたしている利用者と家族に対して入所事業所の短期サービス、移動支援サービスの利用調整を行った。

(6) 運営関係 (教育・学生実習・啓発活動等)

日常業務における現任訓練、嘱託医や臨床心理士による専門研修、新任研修、外部派遣研修を行った。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染リスクを考慮してリモートで実施した。特別支援学校高等部生徒(2名)、福祉系大学生(1名)を受け入れた。

(7) 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	5	0	0	0	2	4	2	0
職員	0	0	0	1	3	0	0	1	4	0	1	1

4 苦情解決事業 なし

共同生活援助事業 (南部方面グループホーム・4ホーム)

1 事業概況

課長 (管理者兼サービス管理責任者)、複数のグループホームを兼任する支援員、各グループホームの専任支援員(正職員及び非常勤)を配置した。日中活動は全員が「ポルト能見台」を利用した。

2 事業実績

(1) 利用者概況(令和5年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20~	30~	40~	50~
ヒルサイド	5	0	0	0	1	2	2	5	0	0	0	2	3
JOY	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	3	2
ノア	5	0	0	0	1	0	4	5	0	0	2	1	2
オーク	5	0	0	0	2	1	2	5	0	1	0	3	1
合 計	25	0	0	0	4	5	11	20	0	1	2	9	8

3 支援および運営状況

新型コロナウイルス感染リスク対策を継続し、検温・消毒の徹底や健康管理を行った。週末の一時的な利用や週半ばの祭日利用に対応した。保護者の高齢化等家族状況の変化に伴う週末利用増加に対応できるよう支援体制の見直しを行った。4月、8月、1月に利用者が新型コロナウイルスに感染したため、緊急体制を組んで対処した。

4 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
職員	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

4 苦情解決事業 なし

地域支援課

「共同生活援助事業」(北部方面グループホーム・12 ホーム)

1 事業概況

3 係制とし、次長(1名)、係長(3名)、主任(3名)を配置した。正規職員の欠員補充ができず、パートタイム職員を募集し、配置や勤務シフトを調整した。育児休業を同時期に取得する状況が発生し、期間中は他課からのサポートを受けながら支援にあたった。新型コロナウイルス感染予防のため活動時間の分散、換気や消毒等の基本的な対策を継続した。研修や会議はオンライン方式で行った。

2 事業実績

(1)利用者概況(令和5年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢				
		1	2	3	4	5	6	男	女	20～	30～	40～	50～	60～
ハウス BEE	5	0	0	0	1	1	3	5	0	0	0	1	3	1
ハウス SEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	1	3	0
ハウス DOUX	5	0	0	0	0	0	5	5	0	0	1	1	3	0
ハウス EEL	5	0	0	0	3	1	1	5	0	0	0	0	5	0
ハウス F	5	0	0	2	3	0	0	5	0	0	0	2	3	0
ハウス G	6	0	0	0	1	0	5	6	0	0	0	1	4	1
ハウス i	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	1	3	1	0
ハウス K	5	0	2	1	2	0	0	5	0	0	3	0	1	1
ハウス Lm	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	1	4	0
ハウス Muu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	3	1	1	0
ハウス P	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	2	1	2	0
ハウス Q	5	0	0	0	0	1	4	0	5	0	2	0	3	0
合 計	60	0	2	3	11	16	28	55	5	0	12	12	33	3

3 支援および運営状況

家族の加齢や家庭状況の変化により週末利用が増えたため職員配置を調整した。新型コロナウイルス感染予防のため外出活動の内容を調整し、旅行は中止した。4 ホームで感染者や濃厚接触者が出たため陽性者と非陽性者の棲み分け(ゾーニング)、防護具使用、消毒の徹底などをして感染拡大防止に努めた。職員および職員家族の感染が多く、勤務調整しながらサービス提供を継続した。令和5年2月に新規利用者(1名)を受け入れた。

4 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1	7
職 員	0	0	0	5	1	0	0	2	3	3	1	0	15

5 苦情解決事業 なし

「ヘルパーセンターやまびこ」

1 事業概況

管理者、サービス提供責任者(4名)、パートタイム職員(登録ヘルパー・事務員)を配置

した。介護給付事業として居宅介護、行動援護、重度訪問介護、地域生活支援事業として移動支援を実施した。

2 事業実績

(1) 派遣件数(令和5年3月31日現在)

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
登録ヘルパー	54名	39名	44名	4名
利用者数(のべ)	236名	375名	510名	24名
稼働件数	1,114件	2,008件	20,534件	114件
稼働時間	2,706時間	4,570時間	17,998時間	271時間

(2) 研修事業

- ・知的障害者ガイドヘルパー養成研修 1回(受講者:23名)

3 サービス状況

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら運営し、移動支援および行動援護の稼働件数は前年度比で約1割増加、稼働時間は約3割増加したが、1回あたりの平均稼働時間はコロナ禍前のおよそ半分であった。居宅介護の稼働実績は前年度より微増した。重度訪問介護は稼働実績、利用需要ともに横ばいであった。研修事業は対面とオンラインの併用方式で実施し、実習は令和5年度6月末まで延伸した。

4 苦情解決事業 なし

「計画相談事業」

1 事業概要

管理者1名、相談支援専門員3名(兼務1名)を配置した。生活介護事業所および施設入所支援事業所の利用者の計画相談支援を行った。

2 事業実績

登録者数:194名

サービス利用支援(計画作成):153件

継続サービス利用支援(モニタリング):231件

その他(個別支援会議、面談等):258件

3 支援状況

利用支援(計画作成)、継続サービス利用支援(モニタリング)とともに基本相談として日常的な相談に応じた。感染予防対策を講じ、面談や事業所訪問を行った。集団指導は昨年度と同様にウェブ掲載資料を確認して電子申請システムに登録して参加した。各区の自立支援協議会は対面・オンラインの併用方式となり、状況に応じて参加した。

4 苦情解決事業 なし

相談支援部

相談課

「横浜市発達障害者支援センター」

1 事業概況

センター長を含めた相談員8名と発達障害者地域支援マネージャー4名を配置し、相談支援、機関コンサルテーション、広報啓発、機関連携等を行った。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症への職員の罹患や感染拡大の影響により、相談予約および関係機関との連

絡調整や研修の中止・延期、地域支援マネジャーの訪問予定のキャンセル等が実績に影響した。

2 事業実績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1)相談支援

①相談件数

- ・実支援人数：285名(前年度287名)
新規158名(前年度140名) 男性97名・女性61名 市内156名・市外2名
継続127名(前年度147名)
- ・のべ件数 2,046件(前年度1,846件)
相談：289名／1,689件(前年度286名／1,528件)
調整会議：38名／97件(前年度48名／86件)
機関コンサル：260件(前年度232件)

内訳：区福祉保健センター22件 相談支援事業所148件 就労移行・継続事業所19件 その他福祉サービス事業所37件 医療機関8件 企業5件 その他21件

- ・年齢 中高生期6名 19～39歳200名 40歳以上78名 不明1名

(2)地域支援マネジャーによる事業所支援

知的障害を伴う自閉症や行動障害を持つ人の支援を行う事業所に対して発達障害者地域支援マネジャーが事業所コンサルテーション等を行った。

①支援件数

- ・新規受付：18事業所
(生活介護事業所5、グループホーム6、就労継続事業所4、その他3)
- ・のべ：889件(前年度713件)
生活介護事業所285件 相談支援事業所184件 その他のサービス事業所308件
(成人入所、グループホーム、地域活動支援センター、就労継続事業など)、障害児入所施設35件、その他77件

(3)機関連携・広報啓発

①地域連携プログラム

昨年度から各区のニーズに合わせて柔軟な連携を行う「地域連携プログラム」が始まった。各区年1回、3機関(区高齢障害支援課、基幹相談支援センター、生活支援センター)との打ち合わせ会議の他に、事例共有や事例検討、区のニーズに合わせた研修実施等を行った。

②関係機関との連絡会議等への参加

件数：94件(各区3機関連絡会議40件、各区自立支援協議会17件、その他37件)

③研修・セミナー

- ・センター主催または共催：14回(参加者316名)
発達障害相談基礎研修：1回 55名
発達障害相談応用研修：1回 13名
強度行動障害支援力向上研修(基礎)：3回 152名
強度行動障害支援力向上研修(実践)：1回 32名
発達障害学生支援のための意見交換会：1回 42名
支援者ミーティング：7回 22名
- ・講師依頼：29件 受講者数 1,575名
- ・企業等への啓発(見学対応を含む)：25件 155名

④法人機関誌『マンスリーやまた』編集発行(年4回)

3 苦情解決事業 なし

横浜市学齢後期発達相談室くらす

1 事業概況

室長を含めて職員 5 名(社会福祉士、臨床心理士、公認心理師)を配置。発達障害のある(疑いを含む)中高生の相談支援を行った。発達障害者支援センター事業および横浜市二次相談支援機関として教育分野を含む関係機関との連携に努めた。令和 4 年は 7 月末に駅直結の「ゆめおおおかオフィスタワー」に移転し、8 月より通常事業を再開した。新型コロナウイルス感染防止対策のため今年度も保護者勉強会、当事者グループ活動は広い会場で実施した。

2 事業実績(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

(1) 相談支援

・実支援人数：

新規 92 名(前年度 90 名) 男性 63 名 女性 29 名

継続 166 名(前年度 167 名) 男性 115 名、女性 51 名

終結 105 名(前年度 93 名) [年齢超過による]

①年齢構成：実人数

小学生	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	19 歳以上	合計
0 名	21 名	38 名	48 名	39 名	47 名	34 名	31 名	258 名

②相談方法 (のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,434
訪問	84
電話 (インテーク相談以降)	667
報告書作成等	11
合計	2,196

③相談対象者 (のべ件数)

対象者	件数
本人	660
家族	992
教職員	198
関係機関職員	428
合計	2,278

④相談内容：のべ件数 (主な相談内容を 3 項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	1,173
学校・通所先での対応	1,360
不適応行動への対応	93
対人関係	249
感情コントロール	167
医療機関利用	321
不登校・ひきこもり	79
進路	867
退院後の生活	5
制度資源利用	515
放課後・余暇の過ごし方	184
その他	41
合計	5,054

(2) グループ活動等

①中高生対象グループ活動 9 回 (のべ 30 名参加)

②保護者勉強会 2 回 (のべ 40 名参加)

(3) 機関連携

①ケース会議 18 回

②自立支援協議会・連絡会議等への参加 45 件 (うち教育関係 20 件)

③外部講師依頼 4 件

④事業説明訪問・見学対応 4 機関

3 苦情解決事業 なし

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

センター長を含め就労相談員 6 名を配置。障害者本人、家族、関係機関、企業からの就労相談に応じた。コロナ禍の影響が弱まり企業の採用活動も活発になったため、昨年度よりも新規就職件数が約 30%増加した。相談支援件数総数は約 10%減少したが、職場定着支援の支援件数は横ばいのままで、オンライン方式による面談が定着しはじめた。

2 事業実績(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

(1) 相談支援件数

① 当事者支援：内容別

	就職支援	職場定着支援	日常/社会生活支援	就業・生活支援	合計
登録	421	886	135	294	1,736
未登録	303	634	89	126	1,152

※横浜市の一次相談支援機関として位置づいている就労支援センターでは、手帳の有無、年齢、障害種別等を問わず、希望者の相談全てを受け付ける(未登録)。その後、センターの求職活動支援や定着支援等の支援内容について合意した上で登録する流れになっている(登録)。

② 当事者支援：手段別

	来所相談	電話/Fax/ Eメール	企業訪問	訪問支援 (就労移行等)	カンファレンス	合計
登録	112	1,345	201	37	41	1,736
未登録	106	867	86	11	82	1,152

※緊急事態宣言による自粛期間中、リモート面談は実績のうちでは電話・FAX・Eメールによる支援に含まれる。

③ 企業・その他支援：内容別

	就職支援	職場定着支援	日常生活 /社会生活支援	就業・生活支援	合計
企業	56	32	5	9	102
関係者	88	107	55	249	499

④ 企業・その他支援：手段別

	来所相談	電話/Fax/ Eメール	直接訪問等	合計
企業	7	85	10	102
関係者	24	436	39	499

(2) 新規就職者数(診断別：1 か月以上の雇用契約を締結したもの) 16 名(前年度 12 名)

	身体障害	知的障害	精神障害	手帳なし	合計
企業	0	4	10	0	14
A 型	0	0	2	0	2

求職活動から就職までの期間が長期化傾向にあり、昨年度は就労継続支援 B 型事業所と協働し、利用者 2 名が一般企業に就労した。

(3) 離職者数(診断別) 0 名(前年度 6 名)

離職者は出ず、安定した就労継続に寄与することができた。

(4) 継続支援者数 159 名

	求職支援	定着支援	合計
前年度から継続	13	133	146
今年度新規	4	9	13
合計	17	142	159

3 苦情解決事業 なし

「ワークアシスト」

1 事業概要

管理者、サービス管理責任者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、就労定着支援員、訪問型職場適応援助者を配置し、就労移行支援事業、就労定着支援事業、職場適応援助者助成事業を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で就労移行支援事業の標準的利用期間(2年間)を超えて利用者2名が延長更新を行った。

2 事業実績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 就労移行支援事業(定員20名：利用者数10名)

①利用者状況(令和5年3月31日現在)

(ア) 障害程度

障害程度	B1	B2	精1	精2	精3	身3	なし	合計
男性	0	3	0	2	2	0	1	8
女性	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	0	3	0	4	2	0	1	10

(イ) 年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	0	6	1	0	7
女性	0	2	0	1	3
合計	0	8	1	1	10

(ウ) 入退所者

・新規入所者：6名(男性4名/女性2名) 退所者：8名(就職6名/進路変更2名)

②見学・体験実習

- ・見学：計59名(既卒18名、学生3名、家族8名、支援機関23名、企業7名)
- ・体験実習：計15名(既卒12名、学生3名)

新規利用受入れのため、見学と体験実習を適宜受け入れた。大学支援関係者に向けて情報交換会を開催し、発達障害のある学生の就職活動状況や就労支援ニーズなどの聞き取りを行った。

③プログラム

「ワークアシスト」作業エリアでの職業基礎訓練として、パソコン操作訓練や名刺の編集印刷などの模擬作業、文房具等の商品発送準備作業、PCアダプターの検品作業、車の部品組立て等の受注作業を実施した。社会生活技能の訓練としてグループセッションを実施した。職場体験プログラムとして法人内の事業所において実習を実施した。会社見学、職場実習、ハローワーク訪問など施設外支援を実施した。

(2) 就労定着支援事業(定員20名)

就職後6か月を経過し、就職後3年6ヶ月までの就労者に対して職場訪問や定期面談、余暇・生活支援を行った。

①利用者総数16名(男性11名 女性5名) 定着率85.7%(前年度89.3%)

②離職状況：1名

男性(20代) 自己都合(現在は当事業所の就労移行支援を再利用)

(3) 職場適応援助者助成金事業

就職後 6 か月経過するまでの就職者に対して、必要に応じて訪問型職場適応援助者助成金事業(ジョブコーチ)を活用し入職前後の雇用調整や職場適応援助を実施した(2名)。

3 人材育成

日吉就労支援センターと合同で就労支援に求められるキャリアラダーの構築に向けての取組を行った。具体的には、全職員が参加して2つの事業所でコンピテンシー(就労支援に求められる専門的な技能)リストの作成を行った。

4 苦情解決事業 なし

「東山田地域ケアプラザ」

感染予防に努めながら各事業を実施した。地域包括支援センター、地域活動交流事業の自主事業はいずれも好評であった。居宅介護支援事業は122件(1か月当り)とわずかに目標(124件)に届かなかった。介護予防支援は168件(1か月当り)と目標(160件)を達成した。休止している通所介護事業の代替事業は「東やまたレジデンス」生活介護の定数増をもって地域貢献することとした。

1 介護事業

令和3年10月1日より休止中。

2 居宅介護支援事業

利用者は前年度(令和3年度)より6名増え168名であった。要支援1から要介護2までの件数は約1割増え、要介護3から要介護5は約1割減少した。介護度の軽い人が多いとされる都筑区の特徴を反映している実績となった。

①契約者数：168名(令和5年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	11	32	39	58	14	5	9
比率(%)	6.5	19.0	23.3	34.5	8.3	3.0	5.4

※要支援1、要支援2のプランは受託件数

②要介護認定調査実施件数：82件

3 介護予防支援事業(令和5年3月31日現在)

契約数は前年度(令和3年度)より増加した(8名増)。

契約者数：175件(内委託122件) 内訳：要支援1 61名 要支援2 114名

4 地域包括支援センター

①相談実績 相談件数：2,237件

相談内容内訳

内容	件数	内容	件数
日常生活課題	630	その他の制度・サービス等	26
消費者保護	3	認知症	426
成年後見制度	32	介護・医療(認知症以外)	213
虐待	42	介護・医療(認知症以外)	238
介護保険	1,446	高齢以外の分野	0
介護予防	231	苦情	4

行政サービス	7	ケアマネ相談支援	174
インフォーマルサービス	45	その他	155
入院・施設入所	89		

援助内容内訳

内容	件数	内容	件数
安否確認・状況把握	570	介護保険・行政サービス申請受付	186
助言	561	他機関との調整	1,473
情報提供(サービス・施設紹介等)	656	傾聴	138

②介護予防ケアマネジメント業務(令和5年3月31日現在)

実績に大きな変化はなかったが、要支援1の契約者数が約3倍になり軽度者の利用が増加した。

契約者数：121件（うち委託66件）

内訳：要支援1 62名 要支援2 57名 事業対象者 2名

③介護予防普及強化事業

「Men's ボイトレ」は定員数を大幅に超える申し込みがあり、このため2回の講座を実施した。積極的に地域の病院や社団法人等、地域資源と連携した講座に取り組んだ。認知症啓発を目的としている「チームオレンジ事業」では地域住民と連携し、「みまもりあいアプリ」の普及啓発や認知症サポーター養成講座を実施した。

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
からだ相談会 ※生活支援共催	5回実施 参加者総数123名	目的：①介護予防 内容：介護保険事業所、協力医との連携による相談会
UR からだ相談会 ※包括と共催	1回実施 参加者総数10名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での相談会
Men's ボイトレ ※地域交流共催	10回実施 参加者総数233名	目的：①介護予防②誤嚥防止 内容：オペラ歌手による歌唱指導
ウォーキング&フォト講座	3実施 参加者総数87名	目的：①介護予防②仲間づくり 内容：理学療法士による歩き方指導と緑道の写真撮影

④自主事業(介護予防事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
朝歩きの会 ※地域交流共催	8回実施 参加者総数42名	目的：①介護予防 ②元陸上競技選手によるストレッチと歩き方講座
みんなでうたおう ※地域交流共催	16回実施 参加者総数144名	目的：①介護予防 ②音楽療法の実施

⑤自主事業(包括的・継続的ケアマネジメント事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ケアマネサロン	10回実施 参加者総数36名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催
ケアマネ情報交換会	6回実施 参加者総数60名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：勉強会の開催

⑥自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	10回実施 参加者総数60名	目的：①介護者の仲間づくり②ストレス解消 内容：茶話会、介護に関するミニ講座

すみれが丘ケアプラデー	10 回実施 相談者総数 5 名	目的：CP から離れたエリアでの相談の受付 内容：相談会
認知症ミニフォーラム	1 回実施 参加者総数 39 名	目的：認知症の普及啓発 内容：講演会

⑦チームオレンジ事業

事業名（自主事業）	実施回数・参加者	目的および内容
キャラバンメイトのつどい	3 回実施 参加者総数 24 名	目的：認知症普及啓発とサポーターの場づくり 内容：企画打ち合わせ
オレンジフラワープロジェクト	4 回実施 相談者総数 23 名	目的：認知症普及啓発 内容：オレンジの花を花壇に植える取組
山田地区 Dフレンドリー委員会	10 回実施 参加者総数 93 名	目的：認知症の普及啓発と見守りシステムづくり 内容：打ち合わせ・サポーター養成講座の実施 みまもりあいアプリの普及啓発

5 地域活動交流事業

地域活動が活発化し、子育て支援の利用者は前年度(令和3年度)に比べ利用者数が約8割増えた。「楽しい切り絵」は昨年4回実施後、今年度は1回の実施をもって自主活動化した。

①相談実績 合計98件（内訳：子育て関係2件・障害関係2件・その他80件）

相談内容内訳

内容	件数	内容	件数
日常生活課題	3	その他の制度・サービス等	0
消費者保護	0	認知症	2
成年後見制度	0	介護・医療（認知症以外）	2
虐待	2	子育て・青少年関係	2
介護保険・介護予防	2	障害児・者関係	2
行政サービス	1	苦情	0
インフォーマルサービス	16	その他	80
入院・施設入所	0		

②援助内容内訳

内容	件数	内容	件数
安否確認・状況把握	0	他機関との調整	20
助言	0	傾聴	1
情報提供（サービス・施設紹介等）	7		

③子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
あそびのおもちゃランド	11 回実施 参加者総数 229 名	目的：未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容：ミニイベント、サロンの実施。
わくわくコアラ	10 回実施 参加者総数 156 名	目的：親子のステップ、仲間作り 内容：声楽家・幼稚園教諭等によるリトミック
ぞうさんくらぶ	11 回実施 参加者総数 205 名	目的：未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容：サロンの実施。

④障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
アフリカンダンスくらぶ	9 回実施 参加者総数 32 名	目的：発達障害の子どもと養育者の交流。 内容：インストラクターによるアフリカンダンス教室
ステキアート	5 回実施	目的：発達障害の子どもとの交流と養育者の交流。

	参加者総数 24 名	内容：美術教師によるアート活動
おさんぽカフェ in 東山田	10 回実施 参加者総数 163 名	目的：障害児・者と地域住民の交流 内容：イベントとカフェ

⑤普及啓発活動・ボランティア活動支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
ケアプラギャラリー	常設 (毎月更新)	目的：地域活動の紹介とつながり作り 内容：地域で活動する個人やサークルの作品展示。

⑥地域連携事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
楽しいきりえ	1 回実施 参加者総数 15 名	目的：顔の見える関係づくり、地域連携。 内容：切り絵講座 ※今回をもって自主化した

⑦広報活動

- ・「けあぷら通信」 1 回約 2,250 部発行 〈4 回〉 情報提供を掲載。
- ・「けあぷら広報紙」 1 回約 2,250 部発行 〈2 種各 12 回〉 複数の事業案内を掲載
- ・「事業案内」 1 回約 2,250 部発行 〈36 事業〉 事業案内を掲載。
- ・「ケアプラザカレンダー」 1 回約 80 部 〈12 回〉 掲示用事業カレンダー
- ・ホームページ 広報紙の他、自主事業の案内等を掲載。(概ね 1 月に 1 回更新)

6 生活支援体制整備事業

地域資源と連携して実施したが、とくに相談件数の増加がみられる UR からだ相談会は来年度(令和 5 年度)の事業実施につなげることが決定された。

自主事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
からだ相談会 ※包括と共催	5 回実施 参加者総数 123 名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での相談会
介護予防ボランティア	10 回実施 ボランティア 21 名	目的：①地域連携②介護予防の普及 内容：地域の事業所と協力し地域活動に赴き介護予防講座を実施
エリア連絡会	5 回実施 参加者総数 128 名	目的：①地域ケアシステムの構築 内容：学習会・意見交換会の実施
歩行測定会	1 回実施 参加者総数 16 名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での測定会と相談会
UR からだ相談会 ※包括と共催	1 回実施 参加者総数 10 名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での相談会
スマホ講座	1 回実施 参加者総数 10 名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での講座の実施

7 運営協議会

- | | | | |
|-------|-----------------|------|--------------|
| 第 1 回 | 令和 4 年 7 月 13 日 | 対面実施 | 令和 4 年度事業計画等 |
| 第 2 回 | 令和 5 年 3 月 19 日 | 対面実施 | 令和 4 年度事業報告等 |

8 苦情解決事業 なし